

第3票 採光及び照明定期及び臨時検査票

令和 4 年度 学校名 ~ 小学校 天候 晴

(定期) 採光及び照明 測定日時 令和 4 年 6 月 23 日 (木) 9 時 30 分

(臨時) 測定場所 5 年 / 組 教室 授業 ー

調査者 職名 教諭 氏名 山田雅英 (印) 人数 ー

1. 照度

常時点灯使用の場合消灯時の測定不要

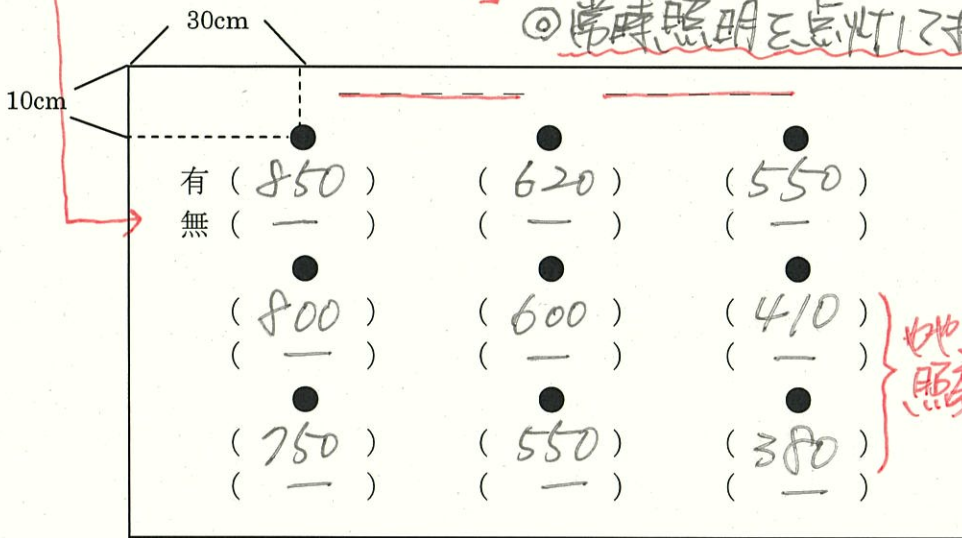
学校長	学校薬剤師	保健主事	養護教諭
-----	-------	------	------

◎黒板面照度 (点灯有無)

電灯 (40 W) の位置を実線 (赤色) で記入

◎常時照明と点灯して授業を行う消灯時の照度

「照度」測定は省略

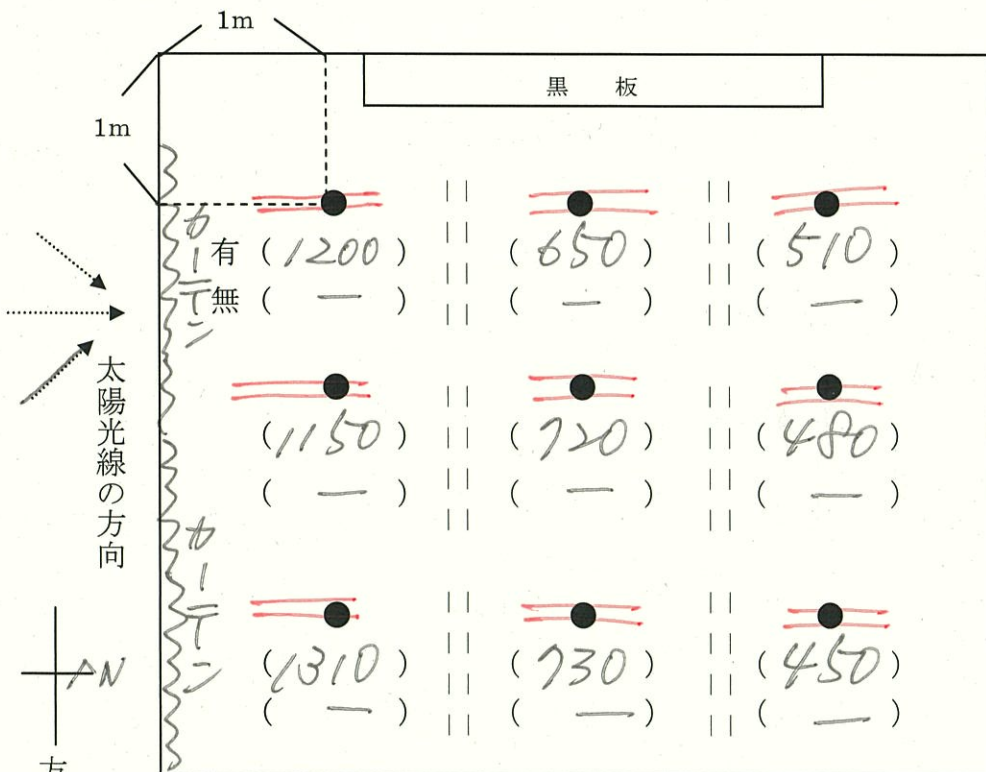


最大照度 (有 850 ルクス)
(無 ー ルクス)
最小照度 (有 380 ルクス)
(無 ー ルクス)

「照度比」
(有 2.24: 1)
(無 ー: ー)

◎教室内照度 (点灯有無)

電灯 (40 W) の位置を実線 (赤色) で記入



「照度」
最大照度 (有 1310 ルクス)
(無 ー ルクス)
最小照度 (有 450 ルクス)
(無 ー ルクス)

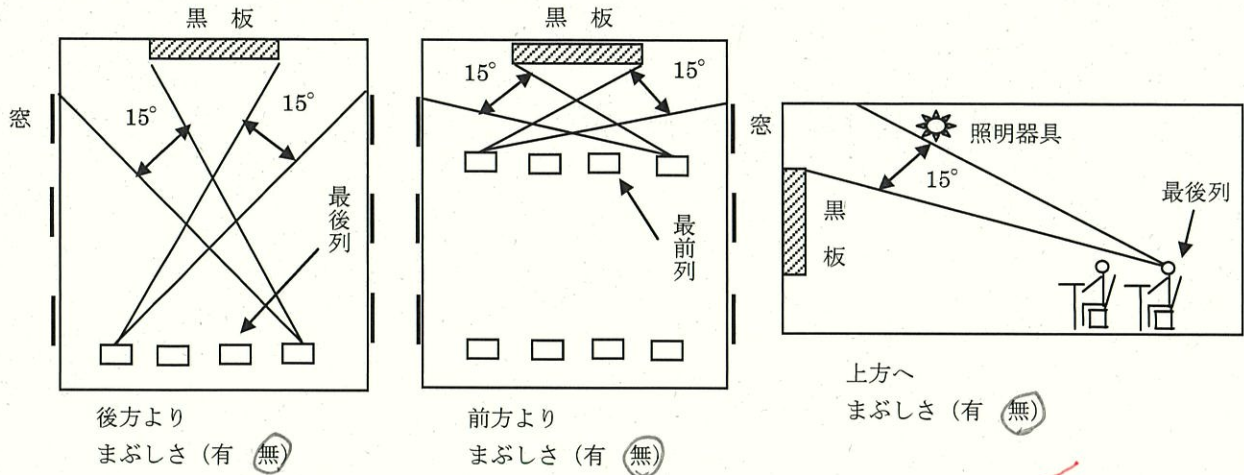
「照度比」
(有 2.91: 1)
(無 ー: ー)

(裏面も調査下さい)

方位

2. まぶしさ

◎ 黒板付近のグレア (まぶしさ)



3. 総評

まぶしさの有無をチェックする。忘れがち

項目	検査事項	判定	基準
印象	1) 教室へ入った時の印象	○	
教室内	1) 照度は十分にあるか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下限値 300 ルクス (500 ルクス以上が望ましい) ・ 照明器具は児童生徒の視線の方向と平行が良い ・ 照度比 最大照度と最小照度比が 10:1 を超えないこと やむを得ない場合でも 20:1 を超えないこと
	2) 照度比はよいか	○	
	3) グレア (まぶしさ) はないか	○	
	4) 照明器具は適当か、又はその配置はよいか	○	
	5) 照明器具は清掃されているか	○	
	6) 照明器具のちらつき・劣化・断線したものはあるか	○	
	7) 照明器具の点滅は列ごとにそれぞれ別回線になっているか	○	
	8) 強い直射日光の照射を防ぐためのカーテン・ブラインドなどがあるか、又は清潔か	○	
黒板	1) 照度は十分あるか	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>500 ルクス以上が望ましい</u> ・ 照度比 教室内と同じ
	2) 照度比はよいか	○	
	3) グレアはないか	○	
	4) 照明器具は適当か、又はその配置はよいか	○	
総合	1) 照明に対する認識・工夫・努力はどうか	○	

判定： ○……良い △……改善が望ましい ×……早急な改善を要す

指導助言事項	<p>黒板の廊下側の照度が不足。 黒板灯の向きを調整、清掃をお願いします。</p>
--------	---

黒板灯は黒板の中央付近を照らすか確認しておく。

(令和3年4月1日改訂)

第4票 採光及び照明（コンピュータ使用教室等）定期及び臨時検査票

令和 4 年度 学校名 ～ 小学校 天候 晴
 (定期) 採光及び照明 測定日時 令和 4 年 6 月 23 日 (木) 9 時 30 分
 (臨時) (コンピュータ使用教室等) 測定場所 5 年 1 組 教室 授業 —
 調査者 職名 教員 氏名 山田 雅英 人数 —

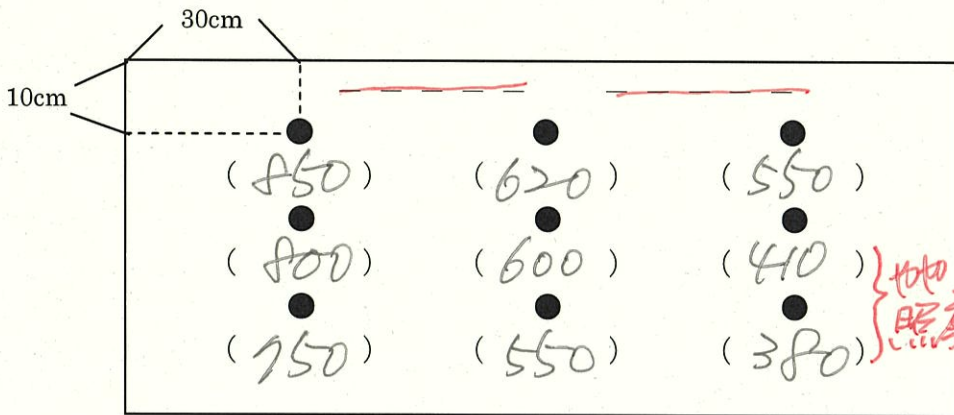
1. 照度

学 校 長		学 校 薬 劑 師		保 健 主 事		養 護 教 諭	
-------------	--	-----------------------	--	------------------	--	------------------	--

◎黒板面照度（点灯有）

電灯（40W）の位置を実線（赤色）で記入

タブレット使用と想定に測定



「照度」

最大照度（850ルクス）

最小照度（380ルクス）

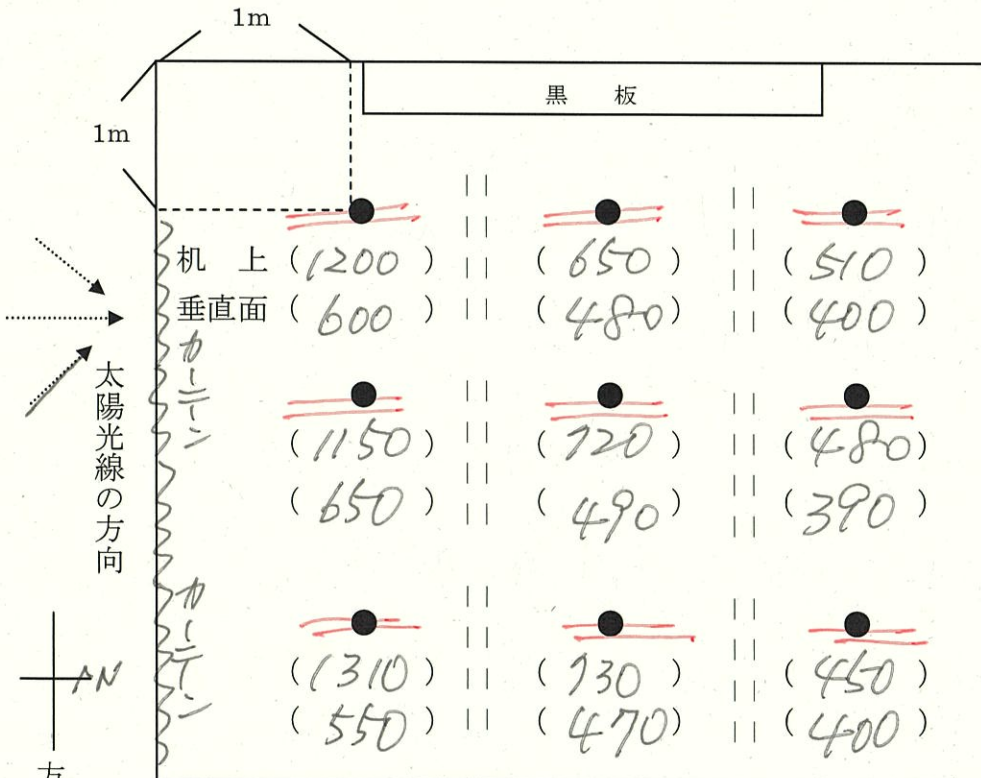
「照度比」

(2.24:1)

◎教室内照度（点灯有）、ディスプレイの垂直面照度

電灯（40W）の位置を実線（赤色）で記入

垂直面照度は、タブレットと机の角度と約60°に測定した。



照度の測定位置は、図に示す9箇所に最も近いと思われる机上で測定する。

その位置に机がない場合には、適切と思われる位置を選び測定点とする。

「照度」

最大照度（机上 1310ルクス）

（垂直面 650ルクス）

最小照度（机上 450ルクス）

（垂直面 390ルクス）

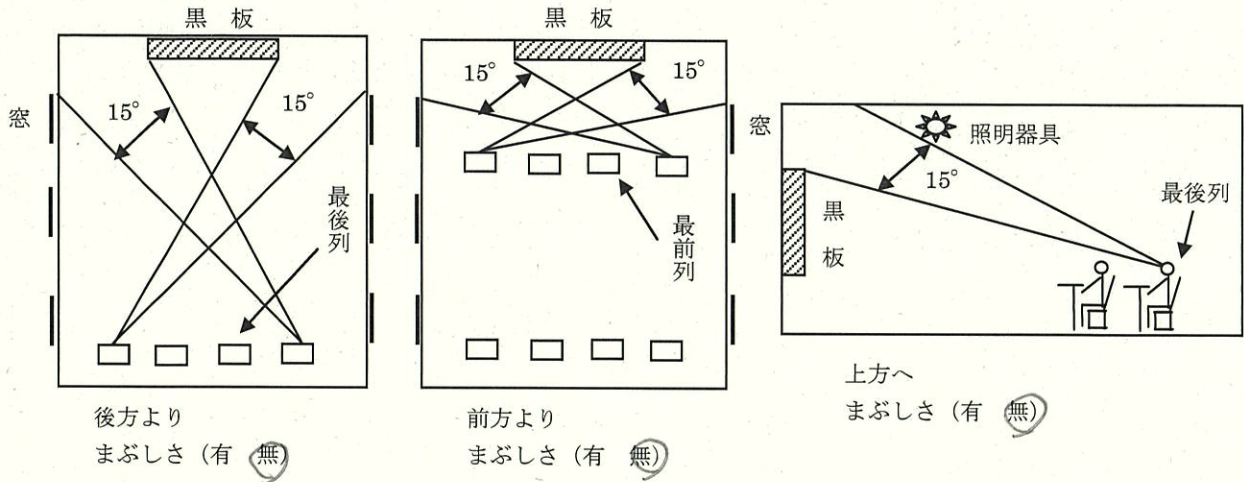
「照度比」

（机上 2.91:1）

（裏面も調査下さい）

2. まぶしさ

◎ 黒板付近のグレア (まぶしさ)



3. 総評

項目	検査事項	判定	基準
印象	1) 教室へ入った時の印象	○	
教室内	1) 照度は十分にあるか	○	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイ画面の垂直面照度は 100~500 ルクスが望ましい 机上の照度は 500~1000 ルクスが望ましい 照度比 最大照度と最小照度比が 10:1 を超えないこと やむを得ない場合でも 20:1 を超えないこと ディスプレイ画面に映りこみがないこと
	2) 照度比はよいか	○	
	3) グレア (まぶしさ) はないか	○	
	4) ディスプレイ画面に映りこみがないか	△	
	5) 照明器具は適当か、又はその配置はよいか	○	
	6) 照明器具は清掃されているか	○	
	7) 照明器具のちらつき・劣化・断線したものはないか	○	
	8) 強い直射日光の照射を防ぐためのカーテン・ブラインドなどがあるか、又は清潔か	○	
黒板	1) 照度は十分あるか	△	<ul style="list-style-type: none"> 500 ルクス以上が望ましい 照度比 教室内と同じ
	2) 照度比はよいか	○	
	3) グレアはないか	○	
	4) 照明器具は適当か、又はその配置はよいか	○	
総合	1) 照明に対する認識・工夫・努力はどうか	○	

判定： ○……良い △……改善が望ましい ×……早急な改善を要す

指導助言事項	教室でのタブレット使用を想定に考慮、タブレット使用が机上、垂直面照度はおおむね基準値内であった。
--------	--

タブレットへの映り込みは場所によらず、一部確認したところ、タブレットの角度を調整し、映り込みのない状態で使用するよう指導をおこなう。

(令和3年4月1日改訂)

第5票 騒音レベル定期及び臨時検査票

令和 4 年度 学校名 小学校 測定日時 令和 4 年 6 月 23 日 (木) 天候 晴

(定期) 騒音レベル 測定場所 3 年 4 組 教室 10 時 30 分

(臨時) 調査者 職名 教諭 氏名 山田雅英 (印)

学校長	学校薬剤師	保健主事	養護教諭
		(印)	

騒音環境を調査後、騒音レベルを測定

騒音環境	発生源	
	校内	無・有(児童の声)
校外	無・有(南側道路の自車騒音)	
等価騒音レベル (機種:11T-AL-27)	(授業が行われる日の授業が行われている時間帯において、児童・生徒がいない状態で測定)	
	窓閉	窓側 45.0 d B
	廊下側	廊下側 41.5 d B
	窓開	窓側 49.5 d B
指導助言事項	いすの騒音も基準以下で良好な環境である。	
備考	騒音レベルの測定結果が著しく基準値を下回る場合、内外の環境に変化が認められない限り、次回からの騒音レベルの測定を省略することができる この場合の測定値は、窓閉め時45 d B以下、窓開け時50 d B以下をいう。	

日常の学校生活より、騒音について聞き取りをする。
この際、日常点検の結果を十分に活用すること。

騒音源の把握、南側道路の騒音

基準

窓を閉めている時
等価騒音レベルは LAeq 50dB 以下であることが望ましい。
窓を開けている時
等価騒音レベルは LAeq 55dB 以下であることが望ましい。

次回から省略する。騒音を減らす。騒音測定は必要。(令和3年4月1日改訂)

必要記入